

2018 年度

# 第 1 回 広島女学院中学高等学校 SGH 研究発表会

主催 広島女学院中学高等学校

研究 目 標：SGH校連携による課題研究の深化

研究発表会テーマ：多様な視座から課題研究(平和構築・核軍縮)を発展させる

◆会 期 2018年6月15日(金) 13時55分～17時30分(受付13時30分～)

◆会 場 広島女学院中学高等学校

〒730-0014 広島市中区上幟町 11-32

TEL 082-228-4131

FAX 082-227-5376

## 日 程

13時	14時	15時	16時	17時	18時
	55分	55分		35分	30分
受付 (13:30～) 控室： 中学 チャペル	講演会 (生徒対象講演 を公開) ゲーンホール	休憩	SGH 課題研究 プレゼンテーション パネルディスカッション ゲーンホール	休憩	SGH 課題研究 情報交換会 ゲーンホール

## 生徒対象講演会(13:55～14:40 ゲーンホール)

(※高校生対象の講演を公開します)

演 題 「核廃絶に向けて動き出す世界」

講 師 ピースボート共同代表・核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) 国際運営委員  
川崎 哲 氏

## 講師紹介

ピースボート共同代表。核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) 国際運営委員。2008年から広島・長崎の被爆者と世界を回る「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」プロジェクトを実施。2009～10年、日豪両政府主導の「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会」でNGOアドバイザーをつとめた。2014年5月、「集団的自衛権問題研究会」をたちあげ、同代表。著書『核拡散』(岩波新書)で日本平和学会第1回平和研究奨励賞を受賞。雑誌『世界』(岩波書店)をはじめ国内外のメディアに寄稿多数。核兵器廃絶のためのNGOネットワーク「アボリション2000」の活動に1998年より参加、2016年まで調整委員をつとめた。

恵泉女学園大学非常勤講師(2007年度～「軍縮と核」「グローバルガバナンス論」)。東京外国語大学の非常勤講師として「コンフリクト耐性をそなえた国際職業人教育」事業に参画(2014年度～)。

2017年度は以下の大学で非常勤講師：

早稲田大学・文学学術院(アジアにおける人間の安全保障：前期)

日本平和学会会員、第22期・23期理事(2016～2019年)。日本軍縮学会会員・編集委員(2011年～)。原子力市民委員会、第2部会(核廃棄物部会)メンバー。

## SGH 課題研究 生徒プレゼンテーション&パネルディスカッション (14:55～16:25 ゲーンホール)

参加校による「ヒロシマ・ナガサキ、核軍縮などの学びと実践」をテーマにしたプレゼンテーションの後、パネルディスカッションを行います。

### <参加校紹介>

渋谷教育学園渋谷中学高等学校	
<p>東京・渋谷にある開校 23 年目の私立中高一貫・男女共学校です。「自調自考の力を伸ばす」「国際人としての資質を養う」「高い倫理感を育てる」を教育目標に、国際社会で活躍できる人物の育成に努めています。帰国生も積極的に受け入れ、海外交流も盛んです。SGH の取り組みでは、グローバル問題の知識を基に解決案を考え、行動し発信できる人材を育てることを目的として、「人間の安全保障」をテーマに複数の教科が横断して多面的・複合的な学習を行っています。</p>	
長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校	
<p>今年度で創立 70 周年、SGH の指定を受けて 4 年目を迎えました。校訓はなく、「ともによき世を創る」という旧制長崎中学校卒の山本健吉先生のお言葉の元、先生方と生徒がともに協力し合いながら、日々文武両道に励んでいます。1 年次には、「平和」、「水」、「医療」の 3 つの班に分かれて、長崎とつながるグローバルな課題を発見する「ナガサキタイム」という授業が週に 1 時間あります。2 年次からは、普通科と国際科に分かれます。普通科では、現在長崎が抱える問題の解決策について研究する「地方創世」を、国際科では、グローバルな課題をさらに深く研究する「グローバルスタディー」を行なっています。</p>	
広島女学院中学高等学校	
<p>今年度創立 132 周年となる私立中高一貫・女子校です。「我らは神とともに働く者なり」を学院聖句とし、自己の確立、他者との共生、平和への貢献を教育の基盤にしています、SGH 指定 5 年目を迎えました。6 年間一貫して「平和構築(核軍縮)」を課題研究にしており、中学ではヒロシマの記憶の継承と核軍縮をめぐる議論、高校では国内外の社会課題のケーススタディを行っています。国内外からヒロシマを訪れる人々に平和公園を案内したり、本校生徒が海外に行ってヒロシマを発信したりする活動も盛んです。</p>	
プレゼンテーション タイトル	講評者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋谷教育学園渋谷中学高等学校： 「平和学習からの学びと私たちのこれから」</li> <li>・長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校： 「平和の副教材を用いて、世界の人々の平和への認識を深め、意識を高められるか。」</li> <li>・広島女学院中学高等学校： 「核なき世界を実現するために 共感の輪を広げる」</li> </ul>	<p>ピースボート共同代表 核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN)国際運営委員 川崎 哲 氏</p>

## SGH 課題研究 情報交換会 (16:35～17:30 ゲーンホール)

本校での実践を担当教員より紹介いたします。お申し込みの際、ご質問や共有したい情報等がございましたら参加申込フォームにお書きください。

### ◆参加申込方法◆

6 月 8 日 (金) までに、以下の URL よりお申込みください。

【申込先 URL】 <https://goo.gl/forms/6UweQieqEOJGTWeZ2>

- ・本校ホームページ (<http://www.hjs.ed.jp/>) からもお申込みいただけます。
- ・フォームが開けない場合は、お名前、学校名を記載の上、[office@hjs.ed.jp](mailto:office@hjs.ed.jp) までご連絡ください。
- ・申込手続きが完了しましたらご登録いただきました E メールアドレスに確認メールをお送りいたします。
- ・欠席される場合はお手数ですがご連絡ください。
- ・大きな荷物をお持ちの方はお預かりいたしますので、当日、受付にてお申し出ください。

